

News Release

平成 31 年 1 月 10 日
株式会社日本政策投資銀行

「2018 岡山のインバウンド観光動向 ～DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2018 年版） 結果等から～」を発行

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、このたび、「2018 岡山のインバウンド観光動向～DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2018 年版）結果等から～」を発行しました。

DBJ では、平成 24 年より継続して、アジア 8 地域（韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア）の海外旅行経験者を対象としたインターネットによるアンケート調査を実施しており、平成 27 年からは公益財団法人日本交通公社（会長：末長安生、以下「JTBF」という。）と共同で調査を実施しております。平成 28 年 10 月からは、アジア 8 地域にアメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの 4 地域を加えた 12 地域を対象に、7 回目となる調査を JTBF と共同で実施しました。

当レポートは、その中で特に「岡山」に関する項目を取り上げており、岡山訪問経験者や、岡山訪問希望者についての回答結果をまとめたものです。その上で、調査結果に基づき、今後拡大するインバウンド需要を踏まえた岡山観光振興のための提言を掲載しています。

今回の調査結果の特徴としては、主に以下の 4 点が挙げられます。

- （1）今後の観光戦略として、岡山への旅行者を日帰りから宿泊にする集客活動が効率的かつ高い経済波及効果に結びつく。
- （2）他の観光地から岡山へ移動する手段の発信を積極的に行う。
- （3）自然災害などの不安に対する災害時ガイドなどの発信が必要。
- （4）認知度・訪問意欲が低いことが課題。宣伝は国や地域によって適切な内容・方法で発信することが求められる。

当レポートをご希望の方は、DBJ ウェブサイト「拠点レポート（中国）」（<https://www.dbj.jp/investigate/area/chugoku/index.html>）に掲載していますのでご参照ください。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、今後とも地域に役立つ情報発信を積極的に行ってまいります。

【お問い合わせ先】

岡山事務所 電話番号 086-227-4311